

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)

【公開番号】特開 2003-168424 (P2003-168424A)

【公開日】平成 15 年 6 月 13 日 (2003.6.13)

【出願番号】特願 2001-365993 (P2001-365993)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 4/32

H 0 1 M 4/26

H 0 1 M 4/52

H 0 1 M 4/66

H 0 1 M 10/30

【F I】

H 0 1 M 4/32

H 0 1 M 4/26 E

H 0 1 M 4/52

H 0 1 M 4/66 A

H 0 1 M 10/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 21 日 (2004.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記コバルト被覆工程において、

前記導電性多孔体基板を少なくともコバルトを含有する塩溶液に浸漬する第 1 浸漬工程と

、

前記塩溶液に浸漬された導電性多孔体基板をアルカリ溶液に浸漬して少なくともコバルトを含有する水酸化物を前記導電性多孔体基板の表面に形成する第 1 アルカリ処理工程と、アルカリ水溶液と酸素の共存下で熱処理して前記コバルトを高次コバルト酸化物に高次化するアルカリ熱処理工程とを備えるようにしたことを特徴とする請求項 3 に記載のアルカリ蓄電池用ニッケル極板の製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

そして、コバルト被覆工程において、導電性多孔体基板を少なくともコバルトを含有する塩溶液からなる含浸液に浸漬する第 1 浸漬工程と、この含浸液に浸漬された導電性多孔体基板をアルカリ溶液に浸漬して少なくともコバルトを含有する水酸化物層を導電性多孔体基板表面に形成する第 1 アルカリ処理工程と、アルカリ水溶液と酸素の共存下で熱処理してコバルトを高次コバルト酸化物に高次化するアルカリ熱処理工程とを備えるようにするのが好ましい。